

# 賀川豊彦の生涯と思想

明治学院大学 アジア神学セミナー (2019.11.1)

加山 久夫

- I 忘れられた巨人 賀川豊彦 (資料①②)
  
- II 豊彦の少年時代とキリスト教との出会い
  
- III 神戸貧民街での救霊・救貧活動 (資料1B)  
セツルメント活動 (=「人格的交流運動」)
  
- IV 救貧から防貧へ (資料②)  
防貧としての社会運動——労働運動、農民運動、普選運動、無産者政党樹立運動、  
協同組合運動、平和運動 (世界連邦運動)
  
- V 賀川豊彦の伝道活動と社会運動
  - ・諸種組合運動の集大成としての協同組合運動
  - ・「神の国運動」
  - ・「新日本建設キリスト運動」
  
- VI 賀川のキリスト教思想と実践
  - (1) イエスと神の国→パウロと「キリストのからだ」なる教会→パウロ主義
  - (2) 教会と神の国 (拙論「賀川豊彦における神の国と教会」 稲垣久和編『神の国と世界の回復 キリスト教の公共的使命』教文館、2018年、所収)
  
- VII 賀川豊彦と「神の国」(資料③)  
拙論「賀川豊彦と『神の国』」(賀川豊彦記念松沢資料館編『日本キリスト教史における賀川豊彦 その思想と実践』新教出版社、2011年、所収) 参照。